

「山口きらら博記念公園みらいビジョン(素案)」に対する パブリック・コメント(県民意見の募集)の実施結果について

山口県では、山口きらら博記念公園の交流拠点化に向けて「山口きらら博記念公園みらいビジョン」を策定しましたので、公表します。

また、ビジョンの策定に当たり、ビジョン(素案)に対して実施したパブリック・コメント(県民意見の募集)の結果について、併せて公表します。

1 公表する資料

- (1) 「山口きらら博記念公園みらいビジョン」(概要)
- (2) 「山口きらら博記念公園みらいビジョン」(全文)

2 提出いただいた意見とそれに対する県の考え方

- (1) 意見の募集期間
令和5年12月18日(月)から令和6年1月17日(水)まで
- (2) 意見の件数
15人 70件
- (3) 意見の内容と県の考え方

■山口きらら博記念公園みらいビジョン(素案)の内容に係る意見(69件)

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
	全 般	
1	目指すべき姿とこれに向けた整備方針・利用方策、そして期待できる効果と、シンプルで分かりやすい構成がよいと思います。	ビジョンの実現に向けて、民間活力も導入しながら、取組を進めてまいります。
章	第2章 公園の現状と取り巻く環境	
2	P7 デジタルを活用していく前に、現在、公園として不足している基本的なこと(日影がない、休める場所がない、トイレが少ない・遠い等々)の改善から優先的に予算をかけるべきと思います。目指すべき「交流拠点」「観光拠点」「利用者サービスの向上等」に真に必要なデジタル活用かどうか、活用前によく検討していただきたい。	いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
章	第3章 ビジョン策定に向けた取組	
3	P13 「公園が広いとため、駐車場から目的施設までの距離が遠い」、「飲食施設・売店・自動販売機が少ない」、「雨の日は利用しにくい」、「イベント時に周辺道路が混雑する」及び「休憩場所(ベンチ・日陰等)が少ない」公園開設当時から改善点として言われ続けていることが、20年経過しても改善されていないことも問題だと思えます。	いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
4	P13 冷暖房の設置は急務だと思います。参加者の立場でしたが、熱中症が心配されるシーズンのドームイベントでは特に危険性を感じました。主催・運営側の方はなおさら大変と感じました。	
5	P13 トイレ、手洗い場について、大規模イベントの際に、増設されないのがずっと疑問でした。やっと最近になって増設されるようになりましたが。	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
6	<p>P17 専門家等の意見、共同研究の提言のフェーズは終わったと思われるので、今後は企業などと、再整備事業の実現に向けて現実的なステップに移行する段階ではないかと思えます。研究、提言、実証実験で終わらないようにしていただきたいと思えます。</p>	<p>ビジョンの実現に向けて、民間活力も導入しながら、取組を進めてまいります。</p>
章	第5章 整備方針と利用方策	
7	<p>P25 新しいハードを建てる前に、今ある施設で公園の利活用増加につながる改善を並行して実施することが先決かと思えます。</p> <p>また、新設・再整備は今後の人口（税収）減少を鑑みて、適切な規模を設定し、収益増につながる再整備であることが必須だと考えます。もし、新設があるのであれば、老朽化のため改築など併設できるものは併設し、予算面に最大限の配慮をした計画を組んでいただきたいと思えます。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>P25 フラワーガーデンについて、有料ゾーンと、日常的に楽しめる無料ゾーンとを区分けして収益を確保する必要があると考えます。</p>	
9	<p>P25 ペットが苦手な来場者も多数おり、衛生面・安全面・管理面においても、ペット同伴可ゾーンは限定的な方が良く考えます。どこへでもペット同伴（介助犬は除く）できることが、良い公園の特徴とは思いません。</p>	
10	<p>P25 スケートボード、BMX、3×3 などができる複合型アーバンスポーツパークの導入について、安全性、基礎から指導できる指導者・専門家も必要ではと感じました。</p> <p>「施設を新設しただけ、管理者不在」で何か不測の事態が起こるといことがないようと思えます。</p>	
11	<p>P26 昨今、「インクルーシブパーク」という言葉と設備だけが取り上げられているように感じます。実際に障害のある方も気兼ねなく、安全に遊んでいるのかというのも疑問に感じます。</p> <p>「物・設備」を作るだけでなく、「インクルーシブデイ」が頻繁にあるなどの場づくりや、安心・安全に遊べるよう「障がいのある方達のフォローができる人材」が必要と考えます。</p>	
12	<p>P26 目や耳、歩行に不自由のある方でも、自然や公園を楽しむコンテンツやツールが開発されれば意義はあるし、新しい公園となりえると思えます。また、企業・大学研究機関と連携して技術開発の創出の場となればとも思えます。</p>	
13	<p>P27 科学的根拠に基づく選手強化活動の充実や県民の健康を増進する「スポーツ医・科学サポートセンター」の整備について、学生の部活動やサークルにも波及できる活動となれば良いと思えます。</p> <p>指導者・治療者の育成、スポーツ医学の推進の拠点となれば良いとも思いますが、かなりの予算・人材確保が必要になるかと。センター創設するなら、プロアスリートも頼りに来るようなセンターでなければですね。</p>	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
14	<p>P27 「子どもの遊びを見守りながら」「働く」は、現実的に無理です。保育施設やサービスまで公園に新設するということでしょうか。有料で経営が成り立つなら良いとは思いますが。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>P28 電動モビリティ等の導入について、定番ですが、セグウェイツアーはいまだに各所で人気があるようです。 また、最新の環境負荷の少ない電動モビリティが導入されると公園の新たな特徴になるかと思えます。</p>	
16	<p>P29 県民ボランティア等について、今後は、ボランティアも世代交代が起こります。 有償ボランティアも視野に入れるべきかと思えます。「やりがい」「自己肯定感向上」も大事ですが、ボランティアが無償の労働力として扱われれば、人は離れていくと思えます。</p>	
17	<p>P29 民間企業のノウハウや県民のアイデアなどによって公園の機能や使い方をアップグレードし、県民の意見をきちんと取り入れることは、今後も大切にしていきたい。 今回のアンケート結果は予想どおりの結果でした。「交流拠点」、「集客拠点」として再整備をしていくのであれば、まずはアンケート結果にあがった改善点をクリアにしていくことが重要だと感じました。 また、運営・管理者が自らアイデア提言や事業改善をしていける体制が重要ではないでしょうか。</p>	
18	<p>結婚式や前撮り撮影が可能なシチュエーションスポットの設置をすると良い。</p>	<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（1）心に安らぎや癒しを与える緑や花の充実」に、フォトスポットの整備について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>アーバンスポーツパークは屋外施設だけでなく、雨天でも利用可能な屋内施設を併設してほしい。（岩国ベース基地内にはパークが整備されています、日本国内でどんどん整備されている中で差別化が必要と考えます。）</p>	<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（2）県内外から幅広い世代の人が集う施設の導入」に、複合型アーバンスポーツパーク及びアスレチック施設の導入について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>大人が夢中で遊ぶと、子どもも一生懸命遊ぶので、いろんな人が楽しめるように、大人の遊びにも気を配った公園としてほしいです。特にアスレチックを整備してほしい。</p>	<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（2）県内外から幅広い世代の人が集う施設の導入」に、複合型アーバンスポーツパーク及びアスレチック施設の導入について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方	
21	<p>一般のオートキャンプ場は観光拠点として駐車するには高額すぎるため、キャンピングカーや車中泊仕様の車両を安価に駐車できるスペースが必要です。</p> <p>キャンピングカーや車中泊仕様の車両を駐車し、車内で家庭用エアコンや電子レンジなどが使用できる電源（1500w以上）の設置が望まれます。</p> <p>駐車スペース近くにトイレ、洋式トイレの設置があり、駐車料金は一泊@¥2,000程度であることを希望します。</p>	<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（3）アウトドアツーリズムの拠点」に、キャンプが楽しめる施設の導入及びマリンアクティビティの充実について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>	
22	<p>道の駅で販売されている食材を車内で調理したり、お弁当やパンを購入して食べられる環境を整備してほしい。</p>		
23	<p>アーバンスポーツだけでなく、SUPなど穏やかな海でのマリンスポーツを充実させると良い。海が近いきらら公園からできるように思います。</p>		
24	<p>スポーツ団体が利用できる飲食施設がありません。</p> <p>合宿で利用する時、昼食はいつも弁当になり、特に冬場は温かいものを食べさせてあげたいと思ってますので、20～80名が食事できる場所がほしいです。</p> <p>近くに宿泊施設もなく、湯田温泉や防府から通わないと行けません。最近夕食を提供してくれるホテルも少なく、合宿利用として最高のプールなのにもったいないです。</p>	<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（6）飲食や宿泊が楽しめる空間の創出」に、カフェ、温浴施設及び合宿にも利用できる宿泊施設の導入について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>	
25	<p>宿泊施設がなく、スポーツ競技における合宿が困難な状況である。食事施設についても、1ヶ所あるが、場所などの理由により利用しづらいため、駐車場から近い場所に、安価で利用しやすい食事施設が必要である。</p>		
26	<p>2日間に渡っての大会の場合、遠方及び早朝からの参加になるので、宿泊施設及び食事施設があったら利便性が良いと思います。</p>		
27	<p>合宿・イベントなどで利用できる宿泊施設があると良いなと思います。</p>		
28	<p>福岡県の海ノ中道や百道浜の様に宿泊施設（ホテル）を誘致してほしい。</p>		
29	<p>温浴施設やデイキャンプエリアを整備してほしい。</p>		
30	<p>宿泊施設や食事施設をつくってほしい。</p>		
31	<p>温泉施設もしくはシャワー施設が近くにあると良い。</p>		
32	<p>ドーム内の空調設備の充実により、季節を問わずイベントの幅が更に広がります。</p>		<p>「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（8）イベントを開催しやすい環境づくりの推進」に、既存施設の機能向上について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
33	スポーツだけでなく、木陰で絵を描いたり文化的な遊びも楽しめる環境を提供いただけると幸いです。	「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（9）快適に過ごすことができる空間の創出」に、ゆったりと過ごすことができる日陰、休憩施設の整備について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
34	新山口駅とシャトルバスをつなぎ、交通アクセスを整備する。	「第5章整備方針と利用方策 5. 1. 整備方針（10）公園内外の周遊性の向上」に、最寄り駅や主要駅からのアクセスの向上、公園内を円滑に周遊できる電動モビリティ等の導入について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
35	無人グリーンスローモビリティなどによる園内モビリティの充実により、広大な園内の回遊性が向上し、人件費の削減にもつながります。	
36	新山口駅→阿知須駅→公園→道の駅→阿知須駅→新山口駅の巡回バスの導入により、現実的に公共交通でアクセス可能になります。交通弱者にも来ていただけるようになります。	
37	<p>公園に行くまでの公共交通機関がとても不便ですが、駐車場がかなりあるので助かっています。</p> <p>新たな競技施設を駐車場をつぶして作る予定にしているなら、大きなイベント時にきらら公園行きのバスを定期的に出せるようなシステムがほしいです。</p> <p>また、平日プールを利用しているのは高齢者が多いのではないのでしょうか？その方達が車で来られなくなったらプール利用はなくなります。その方法も検討していただければと思います。</p>	
38	佐賀のバルーンフェスタのような、大規模名物イベントを毎年開催することにより、リピーター・ファンが定着します。	「第5章整備方針と利用方策 5. 2. 利用方策（1）イベントの誘致・開催」に、多くの人が集う公園となるようこれまで定期的に開催されているイベントに加え、新たなイベントの誘致や開催について記載しているところであり、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
39	<p>この公園で花火大会ができるということを全国に知ってもらうために宣伝や営業活動が必要。</p> <p>花火の経済効果は、非常に高く、日中はアーティストや芸能人を呼び夜は花火でしめくくするようなイベントを誘致し、露店など地元企業様の出展を促すことで、多くの県民や地元企業の集客や活用が見込まれると思われます。</p> <p>また、観光としても期待できます。</p> <p>既存の敷地などを利用することで実現可能ですが、あえて整備するならば、10号まで上げられるように整備すれば、全国の方にご来場いただける、有名な花火大会を実施することが可能になると思われます。</p>	
40	WILDBUNCHFESTとのコラボによる年中音楽を楽しめる空間づくりをすると良い。近隣に住宅が少ないきらら公園からできるように思います。	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
41	<p>遊びながら学ぶことができる屋内型の体験施設は素晴らしいアイデアだと思います。</p> <p>こういった施設がある公園は他でもあまりなく、雨天時の過ごし方としてもぜひ実現してほしいです。</p> <p>小さい子から中学生くらいまでを対象にいただけると嬉しいです。兄弟で行ってもこの年頃の子どもが遊ぶ施設があまりないため、困っているところです。</p>	<p>ビジョンの実現に向けて、民間活力も導入しながら、取組を進めてまいります。</p>
42	<p>広大な敷地を活かした“西日本最大級の〇〇”というような目玉施設を1つは誘致する。例えば、リピーターづくりの観点でサウナ特化型温浴施設などがいいのではと思います。</p> <p>差別化された目玉商品により県外も含めたユーザーを獲得できると思います。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
43	<p>広大な駐車場を活かしたソーラーカーポートの導入により、今以上に再エネ循環による運営が可能となります。</p>	
44	<p>“やまぐち元気食堂（仮称）”を設置し、山口県の特産物（やまぐち和牛、長州黒かしわ、フグ、甘鯛など山口県の農林水産物）、ソウルフード（下関のとんちゃん鍋、瓦そば、下松牛骨ラーメン、ばりそば、“どんどん”のうどんなど）などのテナントを誘致・提供し、県内外の需要拡大を図る。目新しさを保つために、定期的（3か月毎など）にテナントの入れ替えを実施する。</p>	
45	<p>「レノファ山口」のクラブハウス、練習拠点とすることにより、ファンとの交流機会の増加、TM（トレーニングマッチ）などを通じた県内外の見学者（ファン）取込による来園者の増加が期待できる。</p> <p>それにより、ウィークデーの来園が見込め、県外チームとのTMでは、県外のファン来園により飲食の需要が見込める。将来的には、パッツファイブなどの練習拠点として集約できれば、付加価値はさらに高まる。</p>	
46	<p>県内最大級のファーマーズマーケットとして整備し、山口県の農林水産物（6次産業品を含む）、土産品を品揃え、需要拡大を図ると共に生産者の所得向上を図る。（ファーマーズマーケットは、観光拠点にもなる。）</p>	
47	<p>“少年自然の家”の機能を持たせ、自然活動等を通じた体験教育の場として整備する。</p>	
48	<p>県内各地の観光・宿泊・食の情報等を発信する機能を整備し、同地から各地への観光等につなげる。（公園を訪れた人が、県内各地の観光情報等を取得し、今後の休日等において、現地を訪れる機会の拡大を図る。）</p>	<p>いただいたご意見については、今後の本県の観光プロモーションの取組の参考とさせていただきます。</p>
49	<p>街灯は空を照らさないタイプのものを使用して、星空観察が楽しめるようお願いします。きららドームや海、山の風景を映しこんだ星景写真が撮影できる環境が整備されていると嬉しいです。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
50	<p>津波発生時の避難に活用できる展望場所。</p>	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
51	<p>月の海の最南端に直線的に渡れる橋を設置かつフォトスポットになるような広いデッキを造ると良い。</p> <p>橋を設置することにより大芝生広場とドーム側を繋げる外周路を設定することで自転車通行可能とする。</p>	<p>いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。</p>
52	<p>海岸線に沿って飲食店やキッチンカーを誘致常設して、サイクリングやランニング、ウォーキング途中でもテイクアウトして利用できる飲食可能なエリアを設けてほしい。</p> <p>公園側は屋内施設、海岸側はオープンスタイルにすることで天候が悪いときは公園側で利用可能な施設にする。</p>	
53	<p>海を活かした新たなコンテンツとして、港湾整備および美濃ヶ浜・キワラビーチ等への航路づくりをすると良い。</p>	
54	<p>栈橋や人工湾を拡大して、釣りも楽しめるようにしてほしい。</p>	
55	<p>人工海岸を増設して砂浜エリアを拡大、マリンスポーツのみならずビーチバレーや遊泳も可能にしてほしい。</p>	
56	<p>ショッピングも可能な商業施設を誘致してほしい。</p>	
57	<p>水泳の日本のトップ選手を呼んでイベントを企画いただけるとプールの利用も活気がでるのではと思います。</p>	
58	<p>大会の時に感じるのですが、雨天など天候が悪い時、入場時、雨風をしのげるものが無く（身障者用の駐車場にはある）500人から1000人参加するには、かなり危険な状態です。（運営側でフォローされていますが）何かしらスロープみたいなものがあると良いなと思います。</p>	
59	<p>きららプールに会議室の増設。</p> <p>競技役員やチーム監督者などと競技前のミーティングを行う場所がありません。現在、しかたなく、プールサイドや、1Fロビーで実施されていますが、声が聞こえないなどの不都合があります。少なくとも50名程度が収容可能な会議室の増設を希望します。</p>	
60	<p>きららプールに選手控え場所の増設。</p> <p>プールには選手がマットを敷いて休む場所が非常に狭い状況です。観覧席の椅子では選手が休めません。「きららカップ」のように多数の選手が参加する全国大会を開催する際に選手の休憩場所を確保することができません。</p> <p>ドームを選手控え場所に使う案もあると考えますが、距離があるため、移動に時間がかかるうえ、情報の伝達が困難なことや、雨天などの場合に移動によるケガのリスクもあり、現実的ではありません。</p>	
61	<p>きららプールは会議室がありません。来賓室は6名しか利用できません。大会を運営するのに会議する場がなく、競技役員や選手たちが控える部屋もありません。</p> <p>トレーニングルームの利用はどのくらいあるのでしょうか？そこを会議室にすることは難しいのでしょうか？</p> <p>ドームのコミュニティールームのような会議室が最低3つはほしいです。</p>	

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
62	きららプールは大会になると500名以上の選手や関係者が利用することになりますが、圧倒的にトイレが足りません。花博などきらら公園のイベントにも参加しましたが、公園全体にもトイレが足りません。(故障で使えないところもあり)トイレを増やしてほしいです。	いただいたご意見については、今後の交流拠点化に向けた取組の参考とさせていただきます。
63	プールに会議室を作り、Wi-Fi環境を整えてほしい。併せて、トイレの数を増やしてほしい。	
64	スタンド席を増やすとともに、会議室を作してほしい。	
65	施設の雨漏り、結露対策をしてほしい。	
66	スタンド席の結露がひどい所を修繕してほしい。	
67	長水路プールを短水路仕様にもっと簡単に切り替えられるように改修してほしい。	
68	県水泳連盟の事務所を作って県の水泳事業の効率化を図ってほしい。	
69	トイレ側の通路が控え場所の場合と、電光掲示板側のw10横の狭いスペースが控えの時に、結露がひどくスタンドに移動したことがあるので、結露箇所の修繕をしてほしい。	

■ その他の意見（1件）

No.	意見の内容	意見に対する県の考え方
70	<p>きらら浜には、すぐ北側にきらら浜自然観察公園が隣接しています。</p> <p>18歳以上県民3000人のアンケートでは、子供の遊び場、花や綺麗な景色が楽しめる場、安らぎやくつろぎの場などが上位を占めています。</p> <p>きらら浜自然観察公園はこれらの要望を満たすことができる公園です。</p> <p>星空の観察会も年に数回行っており、たくさんの親子が参加されています。</p> <p>きらら浜自然観察公園は2001年4月27日に環境学習施設としてオープンし、阿知須干拓地（現きらら浜）に生育生息する貴重な動植物の保護・保全、県民が自然の生き物に親しみ触れ合える場所、山口県の環境学習の拠点としての情報発信を基本コンセプトとして、現在もさまざまなプログラムを実施しています。</p> <p>今回発表された素案の中には、きらら浜自然観察公園を活用すれば、さらに充実した整備計画ができると考えます。きらら浜自然観察公園は、開園後24年目をむかえましたが、一度もリニューアルはされていません。</p> <p>県環境生活部と県土木建築部と部署は違いますが、古い縦割り行政ではなく、きらら浜自然観察公園も含めたきらら浜全体での「きらら浜の未来ビジョン」の策定を強く望みます。</p>	いただいたご意見については、今後の施策推進に当たっての参考とさせていただきます、関係課とも情報共有を図ってまいります。